

短歌

選評

永井正子

奨励賞

小松市立高等学校 二年 西出 愛梨

桜咲き一面ピンクのカーペット新たな一歩踏み出す勇氣

短歌部門のジュニアの応募は五十三名であった。昨年同様、小松市立高等学校と小松工業高等学校の二校である。奨励賞の他、ある程度のレベルをクリアしている作品のみを掲載させていただく。担当の先生方には今回も深くお礼を申し上げたい。

奨励賞の西出愛梨作品

「桜咲き」であって「桜散り」とは言っていないので「ピンクのカーペット」は桜を見下ろす位置に立つ作者だろうか。花の勢いに誘われ、新しく一歩を踏み出す勇氣を思っている。新学期の豊かな緊張感が歌われた。

奨励賞

小松市立高等学校 二年 橋本 樹人

勉強中机と頭がごつつんこ気付けば毛布にぬくもりしみる

奨励賞の橋本樹人作品

居眠りしたのであろう。机に頭が小さな音を立てた。気付けば毛布に体温が移っていて、ほっこり温かい。しまった、との気持が「ごつつんこ」のオノマトペ（擬音語）に滲んでいてなかなか面白い作品。